

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立新涯小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・学校全体の残食量が多く、特に魚献立の残食量が多い。
- ・食べる時の正しい姿勢や食事マナーの定着が不十分なところがある。
- ・食器破損が多い。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・給食時間の指導の充実
- ・学校給食残飯量の減少（5.0kg 以下）
- ・年間食器破損枚数（100 枚以下）

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 食事マナーの向上及び定着（給食時間の指導の充実）

- ・毎日の給食に関する指導資料「わくわく食育通信」「配膳表」を作成し、各教室で指導していく。
- ・食器を置く位置の指導の徹底
- ・正しいはしの持ち方、食器の持ち方の指導
給食委員会の発表で、食器の正しい持ち方を全校に周知。
1年生の特別活動にて、正しいはしの持ち方、してはいけない使い方を指導し、豆つかみ大会を実施。
- ・魚献立の日は、各クラスに「魚のじょうずな食べ方」の資料を配布し、全校同じ内容の指導を行う。
- ・毎日残量を計測し、各学級の実態を把握し指導に生かす。
- ・食物アレルギーや個々の体調等に気を付けながら、しっかり食べきるように給食指導をする。



【取組 2】（テーマ） 残食ゼロへの取り組み

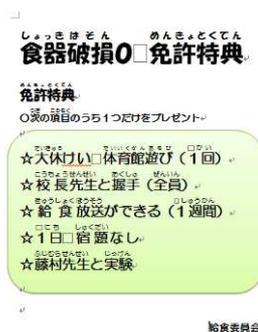
《取組み方法》

- ・校内放送や給食委員会で「もぐもぐタイム」の呼びかけをする。
- ・給食室前に、クラスごとの残食色別表の掲示をする。
- ・養護教諭と連携し、11月のミニ保健では全校に食育の指導を行った。
給食パクパク週間を設定し、振り返りカードを使って1週間残食調査をした。



【取組3】(テーマ) 年間食器破損枚数削減

- ・給食時間の過ごし方の徹底
- ・食器の持ち方, 食器の位置を指導
- ・給食委員会が毎月わくわくモーニング集会で食器破損0クラスの表彰
- ・各学期で破損0枚のクラスにレインボー免許の贈呈 (ご褒美企画)
- ・破損0枚の連続日数の掲示



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

●指導内容

- ・給食室前への掲示: 「ひろしま給食」の写真やレシピを紹介
- ・給食指導資料の活用: 各学級へ配布し, 教室掲示を行う
- ・食数調査の実施: 各学級で集計を行う



●家庭・地域への働きかけ

- ・お知らせの便りや食育だより・給食だよりによる情報発信を行う。
- ・7月に子ども料理教室を実施し, 「ひろしまオールスター★^{たんたんどん}担々丼」 「フレイフレー! サンプルぶどうゼリー」を取り入れた。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・学校給食残飯量の減少…目標達成
5.2kg (昨年度平均) ⇒ 4.2kg (今年度平均)
- ・年間食器破損枚数の削減…目標達成
《児童の食器破損枚数》
121枚 (昨年度) ⇒ 53枚 (今年度: 3月1日現在)

【課題】

- ・食事のマナーの定着ができていない児童が多くいる。
- ・給食時間の指導について教職員間の共通理解ができていない。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・食事の姿勢, はし・食器の持ち方等について, 給食時間の声掛けを担任と連携して取り組みたい。
- ・給食だよりや食育通信等を通して, 児童・保護者に情報を発信し, 啓発する。
- ・学校全体で残食・食器破損の減少につとめる。